

「あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある』と言っていないですか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」

ヨハネ4章35節

旭川

石狩市

釧路

CFNJ 国内アウトリーチレポート

2025.7.11~14





旭川チーム

「神様の愛のしるし」

2年 宮内 仰



私は、今回、旭川にアウトリーチに行くことが出来ました。釧路と旭川、どちらに行くか決める時に、写真を見てなんとなく決めようと思っていたのですが、旭川の丘の上チャペル（神居キリスト教会）の写真を見た時、何故か分からないけれど、ここに行きたい!!と思われました。自分の生活の中でこんなにはっきりと思わされることがなかなかないので、期待感いっぱいアウトリーチに向かいました。教会に到着した時、名前の通り、本当に丘の上に建てられた素敵な会堂がありました。牧師先生と教会員の方々に建てられた2階建ての会堂です。感謝でした。

アウトリーチ初日に、旭川にあるクロスチャーチにも伺うことができました。置田先生ご夫妻の素晴らしい人生の証を聞かせて頂き、私もこんな風に、神様と共に歩む人生を送りたい。神様にあって輝いている人になりたいと思われました。会堂も経営されているカフェも素晴らしいものでした。

丘の上チャペル（神居キリスト教会）での奉仕としては、「子供伝道集会」と「大人伝道集会」の2つをさせて頂きました。子供伝道集会では、なんと子供が12人も参加してくれました。初めは、緊張した様子だったけれど、一緒に賛美したり、ゲームしたりする中で少しずつ子供たちも心を開いてくれた様子が見えて、私も嬉しくなりました。私は、スキットの奉仕をさせて頂きました。子供たちに伝わるかな？とか不安もありましたが、スキットをする中で子供たちの笑い声が響く瞬間があり、「あぁ子供たちの心に届いてる。神様働いてくださってるんだ。」と感じる時でした。その後のメッセージの中でも、子供たちの真剣な目を見て、本当に今回この奉仕をさせて頂くことが出来たこと、心から感謝しました。イエス様を受け入れる祈りの時、何名かが手を挙げてくれて、そのうちの2人は、教会に集ってはくれているけれど、信仰告白をしていなかった子供たちだったそうで、一緒にお祈り出来たことも、神様の御業だと思われました。福森先生ご夫妻、また教会員の方々の働きを通して、今まで蒔かれてきた種が芽生えた瞬間を見ることが出来て、感謝でした。

「大人伝道集会」では、私は証の奉仕をさせて頂きました。原稿を準備する中で、何を話そうか。と悩

んだりしましたが、やっぱり私は、神様との出会いを話したい!!と思われ、証させて頂きました。証をする中でも神様は私に語る口、語る言葉を与えてくださいました。準備していなかった言葉もありましたが、私ではなく、神様が私を通して語ってくださることを体験することができました。証をすればするほど、私の中で大きな喜びとなり、神様の愛が人々に流れていく、そのような感覚がありました。アウトリーチ中、朝起きたら、1つの賛美が頭に流れてきて、それが奉仕をする日（日曜日）の朝でした。その賛美が、「傷跡」という賛美でした。そのサビが、頭にずっと流れていました。

あなたの十字架 その手の傷跡は
わたしのための 愛のしるし
あなたの十字架 その手の傷跡は
すべてを捨てても つらぬいた愛のゆえ

これが歌詞です。その賛美を歌いながら朝過ごしていたのですが、ふと、私の証、それは神様からの愛のしるしだったんだと思われました。私がどんな状況にいても神様は見捨てない、神様はすべてを捨てて、私のために十字架で死なれ、その手にある傷跡は私のためだった。だから、この事を証することは私にとって、神様に栄光をお返しすることなんだと思われました。私と神様との出会いの証は、世界に一つしかない。だからこの喜びを、私は証し続けていきたいです。





旭川チーム

「収穫あった！旭川アウトリーチ」

2年 中澤 美樹



アウトリーチが初めから終わりまで守られ、主に感謝します。受け入れてくださった旭川の神居キリスト教会の方々、見学させてくださったクロスチャーチの置田さんご夫妻、そしてアウトリーチのために遠くからも祈ってくださった方々も、本当にありがとうございました！

今回のメインの活動は神居キリスト教会での子ども会と、大人向けの伝道礼拝での奉仕でした。昨年のタイのアウトリーチとは異なり、今回は日本の地方での伝道、かつ訪問や奉仕させていただく教会は多くはなかったものの、その中でも主のみわざを体験したアウトリーチとなりました。

集会の前日は、駅前で賛美をしながらチラシやトラクトを配りました。当日、子ども会では、ゲームや賛美、スキット、メッセージを行いました。私はメッセージを担当させていただき、創造と堕落、罪の結果、贖いのことや、スキットで描き出されたようにイエス様が子どもたちの心を求めていることを伝えました。大人向けの伝道礼拝では、ピアノ奏楽の奉仕をさせていただきました。

大人礼拝が終わった後、未信者の女性の方と話し、祈る機会がありました。その方が置かれておられる状況や悩みを教えてくださいながら、主がどのようにして私の道を開いてくださったか、特に仕事についての奇跡を証するように導かれ、お話ししました。悩みの具体的な解決については、主に聞くことをお勧めしました。どのように神様の声を聞くのか、また自分の思いでないことをどのように見極めるか疑問をもたれた様子だったので、毎日聖書を読むように勧めると、帰る前に「聖書読みます！」と決意され、帰っていかれました。後ほど教会員の方に、今まで神様を求めるようにプッシュするのは難しかったが前進することができた、と感謝の言葉をいただき、自分の証は主が備えてくださったものであったことを改めて感じました。また、その証が届いたことがわかり、感謝でした。

チラシを見てきてくださった新来者はほぼゼロに近く、伝道の難しさ、人を教会に集めることの難しさを実感しました。「いまは収穫が見えなくても、種まきができてよかった」という思いはありましたが、あまり手応えがなく、実りが少なかったのではないかと、という思いも少しありました。「もっとできることがあったのでは」と思いながら、次の日の朝にデボーションをしていると、レプタ銅貨二枚をささげたやもめの箇所が目につ

まりました。チームとしてベストをささげたことも、個人での準備も、主が見て受け取っておられたことを感じ、「できたことも、不足に思えたことも、いまもう一度すべて主にささげます」と告白し、賛美しました。

神居キリスト教会の丘の上チャペルは、その名の通り丘の上にあり、森に囲まれた教会です。「周りに誰もいないからいつでも弾いてよい」と牧師先生の許可をいただき、滞在中はチャペルにあるピアノで幾度も賛美しました。賛美する中で、ここで献げられる礼拝に主が目を向けてくださるからこそ、神居キリスト教会は旭川で天と地をつなぐ場であり、神様の祝福がまず流れてくる場であり、そして受けた祝福を流していく教会であることを感じました。そして、この場で献げた賛美を、主が受け取ってくださっていたことを改めてその朝教えられ、感謝しました。

賛美し終わり、チームでも改めて旭川と教会の祝福を祈った後、先生ご夫妻が教会に来られ、フィードバックをしてくださいました。すると、子ども会では、子どもたちと共にイエス様を信じて心を明け渡す祈りをした時に、未信者の子ども2人が共に祈っていたと聞きました。それまで1年ほど子ども礼拝に来ていたそうですが、イエス様を受け入れたのは初めてとのことでした。主が最後に収穫を見せてくださったことが、本当に嬉しかったです。（個人的には、アウトリーチ初日と最後の日に、四葉のクローバーを見つけたことも嬉しかったです！）主の働きのために用いられる喜びを感じることができ、感謝します。すべての栄光を主に返しします！





「今も降り注いでいる」

2年 木藤 穰



今回私は旭川にアウトリーチに行きました。全ての奉仕が守られ、無事に終えられたことに感謝します。また祈り支えてくださった皆様に、訪問を受け入れてくださった置田夫妻、神居キリスト教会の皆様にも感謝したいと思います。

1日目は置田夫妻が牧会されているクロスチャーチの訪問をさせていただきました。

そこで聞かせていただいた先生方の歩みと、神様に聞き従う従順さは自分にとってすごく励みとなりました。そのように自分も神様に忠実でありたいと改めて思われました。

一緒に祈る中で神様は大雨の風景を見せられました。撒かれた種が成長するための豊かな恵みがそこに注がれているのだと感じました。

2日目からは神居キリスト教会で奉仕させていただきました。集会の前日だったので、駅前で賛美をしながら集会の案内をしていました。駅前には人通りも多くたくさんの人がいました。その中で賛美をすることができ、また多くの可能性を感じる場所でもありました。

集会は子どもと大人の伝道集会の2回させていただきました。子どもの集会では、子どもたちも自分たちも緊張してしまっていました。ゲームなどを通して緊張もほぐれていき、みんなの笑顔も見れて良かったです。スキットやメッセージもみんな真剣に見聞きしていて、ちゃんと伝わっているんだと感じました。結果的に信仰をまだ告白できていなかった子が、イエス様を受け入れることができた機会となりました。聖霊様が豊かに働いてくださったことに感謝します。

大人の伝道集会では証と賛美をさせていただきました。自分がどのようにイエス様と出会ったかを証しさせていただいたのですが、自分でも不思議な導きだったと証ししながら思われました。

自分だけでなくチームメンバーの証を聞いてい

ても神様の働き方は本当に人によって違い、それぞれが神様と出会っているのだと、神様の働きの大さに感動させられました。チームの一人一人が賜物を用いて奉仕することができたと思います。また神様が豊かに旭川の地を祝福して、豊かな雨を降らせようとしていることを思われました。

福森先生が蒔いてきた種が絶えることなく成長を続けていくこと、また旭川の地のために祈り続けたいと思います。チームのメンバーにも感謝します。共に教会のため、旭川のために祈り、一致できたことはすごく良い経験でした。

ここまで導いてくださった主に感謝します！





旭川チーム

「旭川、大いに学び成長中 しかし、まだまだ旅の途中」

1年 磯谷 健太



このたび、7月11日（金）から15日（火）までの5日間、北海道内でのアウトリーチが行われました。参加者は「旭川」と「釧路」の2チームに分かれ、私は旭川チームとして奉仕いたしました。はじめに、このような機会を与えてくださり、お忙しい中にもかかわらず温かく迎えてくださった神居キリスト教会の福森牧師ご夫妻、クロスチャーチ旭川の置田牧師ご夫妻に心より感謝申し上げます。

●1日目「いざ、出発！」

皆で祈り、いよいよ出発。最初の目的地はクロスチャーチ旭川。置田牧師ご夫妻との素晴らしい交わりが与えられ、預言のことばにも励まされました。ご夫妻が経営されている「Lampstand Coffee」を訪問し、天井が高く開放感のある素敵な空間と、そこに集う人々の様子に感動しました。お客様と自然に会話を交わす置田牧師のお姿を見て、「この方だからこそ人が集まるのだ」と強く感じました。その後、今回の奉仕先である神居キリスト教会 丘の上チャペルへ。打ち合わせを終え、お風呂に入ろうとしたところで…事件発生！なんと、お湯が出ないというトラブルに見舞われました。最初に入った方の“尊い犠牲”に感謝いたします。（笑）

●2日目「奉仕、始動！」

この日は、日曜礼拝のためのチラシのポスティングからスタート。一人ひとり車から降り、それぞれの担当エリアに散らばりました。人通りは少なかったものの、キリスト者を名乗る方とお話しする機会があり、短時間ながらも貴重な交流が与えられました。午後は礼拝のリハーサルを行い、旭川駅前での路傍伝道へ。予想以上の交通量と、多くの方が遠くから賛美に耳を傾け、チラシを受け取ってくださる姿に、旭川の可能性を強く感じ、ワクワクしました。

●3日目「来たぞ、本番！」

9時から子ども向け日曜学校、10時半からは大人向けの伝道礼拝というスケジュールの中で、私は日曜学校でのゲーム・スキット、伝道礼拝での証・スキット・賛美（カホン）を担当しました。初めて会う子どもたちとのコミュニケーションに戸惑い、最初はスムーズに進まず不安になりましたが、なんとかゲームを開始でき、その後のプログラムへと繋げることができました。伝道礼拝でも、証・賛美・

スキットを通して神様に用いられる貴重な機会をいただき、大変学びの多い一日となりました。礼拝後の交わりでは証について質問され、自分では気づけなかった視点からの感想を受けて、大きな励ましを受けました。

●4日目「猛暑の中の軽作業！」

この日は滞在中で最も暑い日で、30℃を超える夏の北海道に驚きました。男性陣は屋根の解体作業を行い、予定より早く終えたため、女性陣が行っていた清掃作業にも加わりました。作業後は自由時間が与えられ、主に感謝！体を動かした後の空腹を満たすべく、旭川名物「新子焼き」をいただき、霊・魂・体ともに満たされました。

●5日目「名残惜しみつつ帰路へ」

出発前、牧師ご夫妻と教会前でお話と祈りのひとときを持ち、お別れしました。4泊5日の滞在は私にとって初めての経験であり、街にも少し愛着が湧いてきました。旭川という街は、都市機能と自然が程よく共存しており、私の地元にも似ていて、とても過ごしやすく感じました。人々も温かく、奉仕の中で鍛えられる場面もありましたが、全てが良い思い出となりました。

今回のアウトリーチを通して学んだこと（3つ）

1.「すべてのことに柔軟に対応すること」

予定変更が多い中でも、与えられた状況で最善を尽くし、任務を全うすることの大切さを学びました。

2.「どんな状況にも動じない心」

日曜学校で思うように進まなかった場面でも、焦らず冷静に対処することの重要性を体験を通して学びました。

3.「全力を尽くし、より良いことを考える姿勢」

旭川の街について仲間と語り合う中で、この地にまだ多くの可能性があることに気づかされました。宣教の地を思い巡らし、祈り考えることの重みを感じました。まだまだ未熟ではありますが、学んだことを一つでも多く実践へと繋げ、神の御国の拡大に貢献してまいりたいと存じます。

末筆ながら、鍛冶川学院長ご夫妻をはじめ、学院に関わるすべての方々、奉仕先の教会の皆さま、そして母教会の方々に心より御礼申し上げます。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

旭川チーム



「主を見上げて、 そこから助けが来た。」

2年 タヒラ デボラ



私は今回旭川のアウトリーチに行きました。このアウトリーチにいったことを神様に感謝します。

受け入れてくださった旭川の神居キリスト教会の皆さん、見学の機会をくださったクロスチャーチの置田さんご夫妻、そして遠くからアウトリーチのために祈ってくださった皆さん、本当にありがとうございました！

今回のアウトリーチでは、主な活動として「神居キリスト教会」での子ども会と、大人向けの伝道礼拝での奉仕をさせていただきました。

昨年行ったタイでのアウトリーチとは違い、今回は日本の地方での活動であり、訪問させていただいた教会の数も限られていました。そのため規模としては小さかったですが、その中でも神様の素晴らしい働きをたくさん見ることができた貴重なアウトリーチとなりました。

集会の前日には、駅前で賛美を歌いながら、チラシやトラクトを配って地域の方々にご案内しました。子ども会当日は、ゲームや賛美、スキット（寸劇）、メッ

セージなどを通して、子どもたちと楽しく過ごしながら福音を伝えることができました。私は賛美と振り付けの担当をしました。大人向けの伝道礼拝では、賛美があつて証があつてスキットもあつて先生のメッセージがありました。

このアウトリーチで本当に難しいことが何個かあったんですけど、ただ主を見上げることをもっと学びました。教会の礼拝堂に大きな十字架があったんですけど、その十字架を見ながら祈ってただ主からの助けを求めることができ、それをもっと学ぶことができました。毎日主を見上げてそこから力が来てそこから助けが来てそこから毎日のモチベーションが来る。

これを学ぶことができたことに、そして主の働きのために奉仕ができたことに心から感謝します。

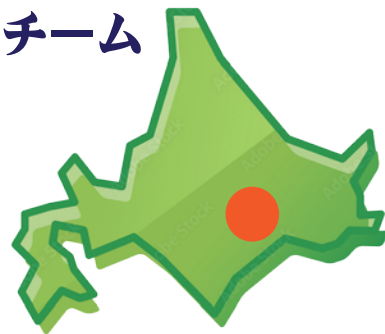




釧路チーム

「祈リーチ」

2年 岩村 一義



ハレルヤ！主の御名を賛美します。この度、庭の家チャペル 釧路リバイバルキリスト教会に CFNJ 学生5名と宣教師の仁さんと共にアウトリーチに行く機会が与えられました。沢山のお祈りありがとうございます！また、チームを迎え入れてくださった伊藤満先生ご夫妻、信徒の皆さん、ありがとうございます。釧路は釧路湿原や摩周湖など国立公園が有り、気温も涼しく、豊かな自然に囲まれた街です。そして、去年のタイアウトリーチのメンバーとは変わり、新しく入学した4名が加わり、個性溢れるメンバーでした。

教会は名前の通り、家の教会で主の家の大庭に入った様な臨在、安心感、居心地の良さがありました。到着し、身支度をした後、皆で共に賛美し、この釧路の地の為に祈り合いました。そこで語られた御言葉は「**権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって**」ゼカリヤ4章6節の御言葉でした。心にあった不安や心配がなくなり、主に信頼する気持ちと、ガソリンを入れられたような油注ぎ、燃える力も与えられた様でした。

1日目は釧路の有名な高台から東西南北に向かって祝福と解放を祈り、駅前で路傍伝道、釧路の祭りが行われている場所で賛美し伝道してきました。面白いことに、私たちが賛美している所の近くでは、原発反対デモの活動、参議院の選挙活動、祭りでパフォーマンスをされている方々がいましたが、すぐに活動を辞めてしまうことが起きていました。賛美の力強さ、天が開かれた様な開放感を体験しました。

そして、賛美とともにフリーハグもしていたので、祭りにきていた大勢の若者たちと交流する機会が与えられました。「信頼」、「安息」、「探す」、「祈る」の4つのカードを若者を選んで引いてもらいました。なんと、「祈る」と「信頼」が多い結果でした。なぜ祈るにしたのと質問をすると、「祈ったら叶えられると信じている」と青年は言っていました。若者たちは夢や願いもあれば、傷ついた心、経験もあるように見えました。けど、信頼できる対象がいらない、誰に祈れば良いのかわかりません。沢山の若者とハグを通して神様の愛を伝えられたこと、体や心の癒しの為にイエスの御名によって祈り、オスグッド病の青年が癒され、イエス様のこと

を伝えることができました。

そして、2日目の平安の子伝道、3日目の主日礼拝を終え、最終日に日本一の透明度と言われる摩周湖へ行きました。しかし摩周湖は霧がかっており、景色が全く見えません。チームと先生方と共に天気が良くなるように皆で祈りました。すぐには霧が消えることはなく、少しの間待っていた時、景色が良くなってきました。霧が上に上がり、湖の所だけが見えてきました。声をあげて皆で喜び合いました。ハレルヤ！

湖の上に上がった雲を見て思いました。「主の霊が私たちの上にある、このアウトリーチでの体験、経験はわたしの力では決してなく、主が働いて見せてくださったと信じます。」

「主の霊がわたしの上にある。主はわたしに油注ぎ、**貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすためにわたしを遣わされた。**」イザヤ 61：1の御言葉がわたしの背中を押してくれました。

二人、三人でも、主の御名において集まる所に、主もその中にいてくださる教会の姿、共に賛美し、祈り合う所に、主の御手が私たちを覆って守ってくださる、また力付けて背中を押してくださることを受け取りました。また、沢山の方々のとりなしの祈りがあってのアウトリーチだったと思います。

祈りには力があります。全ての栄光を主にお返しして、レポートを終えさせていただきます。

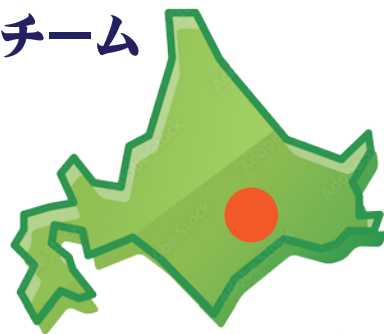




釧路チーム

「神様の偉大さ」

1年 多田 さゆり



今年の4月、私は CFNJ 聖書学院に入学し、初めての夏アウトリーチに参加しました。正直、最初は不安や恐れがあり、「私が行っても何か良いものを注げるのか?」「私にはできることなんて何もないのではないか」と思いながら出発しました。しかし、出発前から神様は必要な備えをしてくださり、その地へ行くことが神様の御心であることをはっきりと示してくれました。

私が派遣されたのは北海道の釧路でした。自然がとても美しく、空気も澄んでいて、心が洗われるような街でした。学院のリーダーである利文先生と紀子先生が、私たちよりも先に現地を訪れ、町を見て回り、祈ってくださったおかげで、私たちが到着したときには霊的な備えが整えられており、神様の働きを身近に感じることができました。

釧路に着いて少し休憩した後、すぐに私たちは街に出て、東西南北に向かって祈りをささげました。その後、路傍伝道を行い、人々に神様の愛を伝え、賛美をし、また癒しの奇跡を見ることもできました。そこにいた人々の心は本当に開かれており、良い種まきができた実感しています。でもそれは、前もって祈りの土台が築かれていたからこそだと感じました。

他の日にも多くのことを体験し、祈りの力の大きさを実際に学ぶことができたアウトリーチでした。また、自分自身が神様と向き合う時間ともなり、神様との関係がさらに深まり、信仰も強められました。本当に釧路アウトリーチに行ってよかったです。悔いはナシです!





釧路チーム

「聖霊様の働きが大爆発の 釧路アウトリーチ！」



1年 碓井 咲希

今回、7月11日～15日までの5日間、釧路にアウトリーチに行きました！今回は CFNJ 聖書学院から旭川と釧路の2チームに分かれていきました。私は母が今家の教会をやっていることから、「家の教会」をやっている釧路に惹かれて選択しました。一言で言うと、本当に私たちの力ではなく、ただただ神様の働きが凄くて、奇跡のような体験をたくさんした恵まれた5日間でした。

Day1

午後に釧路到着。まず初めに、厳島神社に行き、イエスキリスト以外の神（偶像）が取り払われるように。そして釧路が見渡せる展望台に行き、唯一の神であるイエスを釧路の民が知ることができるように、イエスキリストの名によって祝福を祈りました。その後釧路駅と、釧路漁港で路傍伝道をしました。

今回私たちのチームはフリーハグをしました。最初は「フリーハグなんて人来的なのか？」という不安がありましたが、なんとこの日は地元のお祭りがあり、そこにたくさんの中高生がいました。神様が供えた場所としか言いようがないです！なんなら若者の方から寄ってきました（笑）そこで御言葉カードの配布や祈りをすることができました。そして膝に痛みがあった男の子が癒しを体験しました。主のみわざを体験できたこと感謝します。

Day2

「どの家に入っても、まず、『この家に平安があるように』と言いなさい。そこに平安の子がいたら、あなた方の平安は、その人の上にとどまります。いなければ、その平安はあなた方に返ってきます。」

（ルカ10：5）

この言葉を実践するために釧路の一軒一軒を訪問し、「この家の祝福のためにお祈りをしていますか？」と聞いて、OKして下さった方のために祈りました。計6名の平安の子に出会うことができました！出会いを与えて下さった神様に感謝します！

Day3

日曜日の礼拝。庭の家チャペルにて賛美・証・ショート劇をしました。私自身も大学時代自分が神様から離れていたこと。そして母の忍耐の祈りによって、大学4年生の時に、神様に出会えたことを証しました。最初から最後までこの場所に神様が共におられることを感じました。「若者の伝道の姿をみて励まされる」と泣いて言葉にならない牧師の満先生を見て、私もまたまた号泣。共に喜びを分かち合い、励まし合えた1日でした。

Day4

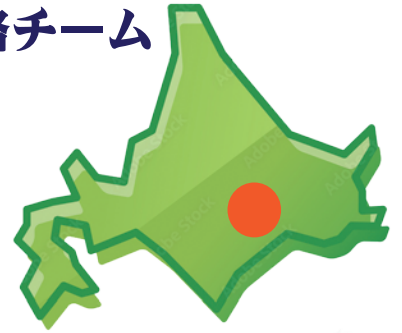
釧路観光の1日でした。摩周湖に行き、最初霧で湖が見えなかったのですが、「イエスキリストの名によって祈ろう！」という意見から、祈り始めました。祈っても最初は晴れなかったので、アイスを食べようと休憩していた時に、なんと外が明るくなり霧が湖の場所だけ晴れました。最後の最後まで神様が働いて私たちに祝福をくださったことを感じたアウトリーチでした。

全ての栄光を私たちの神イエスキリストにお返しします！





釧路チーム



「地の果て釧路」

1年 山 元気

今回、釧路でアウトリーチを行いました。釧路は「世界三大夕日」のひとつに数えられるほど美しい場所で、心から感動させられる地でした。日本の中でも東の果てに位置しており、まさに「地の果て」とも言えるような場所です。アウトリーチには、男性3名・女性2名の計5名で参加しました。主な内容は、路傍伝道、平安の子伝道でした。今回の働きを通して、主がチームを一つにしてくださり、神様からの大きな平安を感じることでできたアウトリーチとなりました。

「主はすべての国々の目の前に、聖なる御腕を現した。地の果て果てもみな、私たちの神の救いを見る。」（イザヤ552：10）

Free Hugs

教会に到着後、まず祈りと賛美を捧げ、配布予定のトラクトにも手を置いて祈りました。主の臨在に圧倒され、聖霊に満たされる豊かな時間となりました。その後、祭り会場へ向かい、最初に Prayer Walk を実施。展望台に登り、東西南北に向けて宣言と祝福の祈りを捧げました。事前の祈り会で「高いところで祈りなさい」と語られていたことを思い出し、展望台を見つけた瞬間に確信が与えられました。そこが釧路発祥の地であると知ったときには、主の導きをさらに実感しました。続いて、釧路駅前と祭り会場で伝道を行い、賛美を歌いながら「Free Hugs」の看板と共に、テーマ別のトラクト（捜し・信頼・休息・祈り）を配布しました。

中高生を中心に多くの若者がトラクトを受け取り、心を開いてくれる方も多く見られました。特に印象的だったのは、中高生18名に祝福の祈りを捧げられたこと、そしてその中の一人が両足のオスグッド（成長痛）の癒しを体験したことです。祈りの中で癒しが実際に起こり、本人も私たちも驚きつつ、そこで大胆にイエス様を証しすることができました。また、駅前では他団体の活動が私たちの到着と共に中断され、祭り会場でも同様のことが起こりました。主の圧倒的な平安がその場に満ちていたことを強く感じました。伝道前は不安もありましたが、実際に始めると喜びと聖霊の力に満たされ、活動後にはチーム全体で主の働きを分かち合う喜びの交わりが与えられました。

「すると彼は、『恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから』と言った。」（2列王記6：16）

平安の子伝道

「平安の子伝道」では、二人一チームで一軒一軒の家を訪ねてノックをし、「この家のために祈ってもよろしいですか？」と声をかけながら回りました。チーム全体でおよそ200件近くを訪問し、そのうち6件で実際に祈ることができました。ある方には癒しの祈りをささげ、その場で痛みが取り去られるという癒しの御業が起こりました。聖霊が確かに働かれ、本当に素晴らしい時間となりました。私は60件ほどの家を訪ねましたが、断られることが続き、正直「もう平安の子なんていないのでは…」と少し心が沈みかけていました。そんな時、突然視界が開けて目の前に海が広がる場所に出ました。その雄大な景色を見てみると、神様の大きさと深い平安が心に満ちていくのを感じました。そしてその後、立て続けに2件で平安の子に出会うことができたのです。まさに主の導きとタイミングであり、心から喜びと感謝に満たされました。

また、平安の子伝道の合間には、教会の信徒さんのお宅を訪ね、短い家庭集会を持つことができました。メンバーの何人かが証を分かち合い、賛美の時間もあり、神様の恵みにあふれた豊かなひとときでした。そしてフリーハグや平安の子伝道を通して、チーム全体に喜びが溢れ、神様を中心とする交わりを重ねながら、主の愛と平安を共に体験できたことは、本当に感謝です。

「そして、その町の病人を直し、彼らに、『神の国が、あなたがたに近づいた』と言いなさい。」（ルカ10：9）





釧路チーム

「すべては神様の御手の中で」

1年 高江洲ヒカル



ハレルヤ！釧路でのアウトリーチが、神様の守りの中で無事に終わり、恵みに満ちたものとなったこと心から感謝します！

今回の釧路へのアウトリーチは、僕にとって人生初のアウトリーチでした。正直、行く前は「自分は何ができるのか」「何をしたらいいのか」と不安でいっぱいでした。でも、出発前に祈っている中で、神様から「今は心配しなくていい。ただ行って、そこですべきことをしなさい」と語られ、平安をもって出発することができました。アウトリーチでは主に以下の3つの活動を行いました。

1つ目が路傍伝道です。

釧路駅前や、地元のお祭り会場で、賛美・フリーハグ・トラクト配りを行いました。その中で、神様がいくつもの奇跡と癒しを見せてくださいました！釧路駅で伝道していたとき、近くで参政党や原発反対のデモをしている人たちがいたのですが、自分たちが賛美を始めると、すぐにその場を離れていきました。まるで神様が私たちを守ってくださっているように感じました。

また、祭りではオスグッド病で膝の痛みがあった男の子に出会い、その子のために祈ったところ、痛みのレベルが「10」から「1」にまで軽減されるという癒しが起こりました！

さらに、フリーハグを通して、たくさんの中高生が「愛に飢えている」ことを強く感じました。ある中学生のグループに「自分は公明党だからキリスト教の人とはハグはできない」と言われたとき、咄嗟に「宗教は関係ないけど、ひとつだけ伝えたい。みんな、神様にめちゃくちゃ愛されてるんだよ」と話したら、彼らの表情が変わり、「やっぱりハグしたいです！」と来てくれました。

この体験を通して、「もっと多くの若者に神様の本当の愛を伝えたい」という思いが強くなりました。最終的に20組以上の方々と一緒に祈ることができ、神様に心から感謝しています。

2つ目は平安の子伝道です。

2つの町に出て、2人1組で多くの家庭を訪問し

ました。多くの家では不在か、祈りを断られることが多かったのですが、その中で約5人の方が祈りを受け入れてくれました！

祈りを断った人はたくさんいたけど、そこに目を留めるのではなく「祈りを受け取った5人の魂」に心から神様に感謝したいです！

3つ目は礼拝での奉仕です。

今回、お世話になった満先生の教会「庭の家チャペル」では、礼拝で賛美とスキットを用いて奉仕させていただきました。礼拝は神様の臨在に満ちた、本当に素晴らしい時間となりました。礼拝後、教会の方々から「スキットがとても分かりやすく、励まされた」と涙ながらに話してくださり、自分自身もとても励まされました。

今回のアウトリーチを通して一番感じたのは、「神様がいつもそばにいて、助けてくださる」ということです。自分たちの力では何もできなかったです。神様がいつもそばにいてくれて力と励ましと平安を与えてくれたからこそ多くの人に大胆に神様について語ることができました。

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16章15節）

御言葉に素直に従うとき、神様が自由に働かれる。そのことを体験できたことで、「従うことの喜びと平安」を深く知ることができました。初めてのアウトリーチが大きな恵みとなり、たくさんの体験を通して神様の働きを実感できたことに、心から感謝します！



旭川チーム



釧路チーム



CHRIST FOR
THE NATIONS JAPAN
JESUS IS KING



SPECIAL THANKS !

クロスチャーチ旭川の置田牧師夫妻、
神居キリスト教会丘の上チャペルの福森牧師夫妻、
釧路リバイバルキリスト教会庭の家チャペルの伊藤牧師夫妻。

大きな愛をもって私たちを受け入れ、
最大限のおもてなしをありがとうございました。

そして最後に、THANK YOU JESUS !



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com ●e-mail: office@cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688 学院長/鍛冶川利文